【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【公表番号】特表2014-516685(P2014-516685A)
【公表日】平成26年7月17日(2014.7.17)
【年通号数】公開・登録公報2014-038
【出願番号】特願2014-510906(P2014-510906)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　16/06　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　16/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　16/06　Ａ
Ａ６１Ｍ　16/00　３０５Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年4月1日(2015.4.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
患者インタフェース装置であって、
（ａ）患者の気道内に呼吸ガスのフローを伝達するように構成される患者シーリングアセンブリであって、クッション及び該クッションに結合されるフレーム部材を有する患者シーリングアセンブリと、
（ｂ）前記フレーム部材の遠位端に設けられ、額クッションに結合される調整機構を有する調整可能な額サポートアセンブリと、
を有し、前記調整機構が、
ハウジングと、
前記額クッションに結合されるベース部分、及び該ベース部分から延び、前記ハウジング内に受け取られる細長いポスト部材、を有する額クッションサポート部材と、
前記細長いポスト部材に選択的に結合されるロック部材と、
を有し、
前記ロック部材は、ロックされた状態及びロックされていない状態の間で移動可能であり、
ロックされた状態では、前記ロック部材は、前記細長いポスト部材と係合し、前記ハウジングに対し前記細長いポスト部材が移動することを防ぎ、
ロックされていない状態では、前記ロック部材は、前記細長いポスト部材と係合せず、それにより、その縦軸に沿って前記細長いポスト部材に如何なるバネバイアスも印加されることなく、前記細長いポスト部材及び前記ハウジングは、前記細長いポスト部材の縦軸に沿った方向において、互いに対し自由に直線的に移動可能であり、前記ハウジングに対する前記細長いポスト部材の移動が、前記額クッションに対する前記フレーム部材及び前記クッションの移動を生じさせ、
前記ロック部材は、前記ハウジング内に保持される弾性部材と、係合部分及び環状部分を有するボタン部材とを有し、前記環状部分は、前記係合部分から下向きに延在する第１のオリフィスを規定し、前記環状部分は、前記ハウジング内に設けられる第２のオリフィスを通って前記ハウジング内に受け取られ、前記弾性部材と係合し、前記細長いポスト部

材は、前記第１のオリフィスを通って受け取られ、前記ロック部材は、前記弾性部材を圧縮させるように前記係合部分に印加される力に応じて、ロックされていない状態へ動かされる、患者インタフェース装置。
【請求項２】
前記患者インタフェース装置が患者によって装着される場合、前記額クッションに対する前記フレーム部材及び前記クッションの移動は、患者の鼻に対し前記クッションをピボット回転させることにより、前記クッションの頂上部分によって患者の鼻梁に印加される力を調整する、請求項１に記載の患者インタフェース装置。
【請求項３】
前記弾性部材がシリコンで作られる、請求項１に記載の患者インタフェース装置。
【請求項４】
前記弾性部材は、凹部が設けられた丸められた上面を有する中央部分を有し、前記環状部分の下部は、前記凹部内に受け取られる、請求項１に記載の患者インタフェース装置。
【請求項５】
前記ハウジングは、第１及び第２の端部スロット部分を有する下部スロットを有し、前記弾性部材は、その下面の両側に設けられる第１及び第２の外向きに延びるフランジを有し、前記第１の外向きに延びるフランジは、前記第１の端部スロット部分に受け取られ、前記第２の外向きに延びるフランジは、前記第２の端部スロット部分に受け取られる、請求項１に記載の患者インタフェース装置。
【請求項６】
前記細長いポスト部材は、その長さに沿って複数の凹部を有し、
前記環状部分は、前記弾性部材が圧縮されない場合に、前記ロック部材がロックされた状態になるように、前記凹部の１つに受け取られる突出部材を有し、
前記係合部分に力が印加されて前記弾性部材を圧縮させる場合、前記突出部材は、前記凹部のいずれにも受け取られず、前記ロック部材がロックされていない状態になり、前記細長いポスト部材が前記ボタン部材の中を移動されることを可能にする、請求項１に記載の患者インタフェース装置。
【請求項７】
前記細長いポスト部材が、
その第１の側部における複数の第１の側方凹部と、
その第２の側部における複数の第２の側方凹部と、
その下面における複数の下部凹部と、
を有し、前記環状部分が、
前記弾性部材が圧縮されない場合に前記下部凹部の１つに受け取られる下部突出部材と、
前記弾性部材が圧縮されない場合に前記第１の側方凹部の１つに受け取られる第１の側方突出部材と、
前記弾性部材が圧縮されない場合に前記第１の側方凹部の１つに受け取られる第２の側方突出部材と、
を有し、
前記係合部分に力が印加されて前記弾性部材を圧縮させる場合、前記下部突出部材は、前記下部凹部のいずれにも受け取られず、前記第１の側方突出部材は、前記第１の側方凹部のいずれにも受け取られず、前記第２の側方突出部材は、前記第２の側方凹部のいずれにも受け取られず、それによって、前記細長いポスト部材が前記ボタン部材の中を移動されることを可能にする、請求項１に記載の患者インタフェース装置。
【請求項８】
前記ハウジングは、前記ボタン部材の前記環状部分を受け取りガイドするように構成される１又は複数の受け取りスロットを有する、請求項１に記載の患者インタフェース装置。
【請求項９】

患者インタフェース装置であって、
患者の気道内に呼吸ガスのフローを伝達するように構成され、クッション及び該クッションに結合されるフレーム部材を有する患者シーリングアセンブリと、
前記フレーム部材の遠位端に設けられる調整可能な額サポートアセンブリと、
を有し、前記調整可能な額サポートアセンブリは、額クッションに結合される調整機構を有し、
前記調整機構は、ハウジングと、額クッションに結合されるベース部分及び該ベース部分から延び、前記ハウジングに受け取られる細長いポスト部材額クッションサポート部材と、を有し、
前記ハウジングは、後部オリフィス及び爪部材を有する後端部を有し、
前記細長いポスト部材は、前記後部オリフィスを通じて受け取られ、少なくとも前記細長いポスト部材の長さの一部に沿って設けられる第１の歯車列及び第２の歯車列を有し、
前記調整機構は更に、ピニオン部材を有するノブ付きアクチュエータを有し、前記ピニオン部材は、前記第１の歯車列と動作可能に係合し、前記爪部材は通常、第２の歯車列に係合するようにバイアスされ、
前記細長いポスト部材の縦軸を横断する方向における前記ノブ付きアクチュエータの移動は、前記第２の歯車列との係合から外れるように前記爪部材を移動させ、それにより、前記ノブ付きアクチュエータの回転が、前記細長いポスト部材の縦軸に沿う前記細長いポスト部材と前記ハウジングとの間の相対移動を生じさせ、前記ハウジングに対する前記細長いポスト部材の移動は、前記額クッションに対する前記フレーム部材及び前記クッションの移動を生じさせる、患者インタフェース装置。
【請求項１０】
前記ハウジングは、後部オリフィス及び爪部材を有する後端部を有し、
前記細長いポスト部材は、後部オリフィスを通じて受け取られ、各々が少なくとも前記細長いポスト部材の長さの一部に沿って設けられる第１の歯車列及び第２の歯車列を有し、
前記調整機構は更に、ピニオン部材を有するノブ付きアクチュエータを有し、前記ピニオン部材は、前記第１の歯車列と動作可能に係合し、前記爪部材は通常、前記第２の歯車列と係合するようにバイアスされ、
前記細長いポスト部材の縦軸を横断する方向における前記ノブ付きアクチュエータの移動は、前記爪部材が、前記第２の歯車列との係合から外れて移動されるようにし、それにより、前記ノブ付きアクチュエータの回転が、前記細長いポスト部材と前記ハウジングとの間の相対移動を生じさせる、請求項９に記載の患者インタフェース装置。
【請求項１１】
前記ピニオン部材が勾配部分を有し、
前記ノブ付きアクチュエータが前記横断方向に移動される場合、前記勾配部分は、前記爪部材のバイアスに対抗する力を供給させ、それにより、前記爪部材が、前記第２の歯車列との係合から外れて移動される、請求項１０に記載の患者インタフェース装置。